

地域おこし協力隊活動報告書 令和6年11月分



古家のぞみ

出身：千葉県市川市
趣味：編み物
着任日：令和5年4月（2年目）



@NFURUYA_08

活動内容：「解説指導員の会」と田平地区の活性化

- ①たびら昆虫自然園解説指導員の会での活動
- ②地域資源を活用したイベントなどの企画・実施
- ③田平町の情報発信（SNS）

園の解説案内等

寒い日が増えて、バッタの個体数が減少し、カマキリが産卵を行うなど冬を越す準備をすすめる昆虫の様子が観察できるようになりました。

県内外から虫好きの親子連れや海外からの観光客、学校団体が来園され、自然について楽しく学んでいただけるように解説案内を実施しました。

11月も土日を中心に解説指導員の方と協力して園の解説案内を中心に活動しました。11月の一般案内は21回、98名、団体を2件、約35名対応しました。

ある学校団体の対応では、児童から昆虫に関する質問が多く寄せられ、事前に送付された質問18件に加え、標本室で設けた質問の時間では追加で10件ほどが寄せられました。質問の中で、「テントウムシの目はどこにありますか。」といったような口頭での回答が難しいものがありました。そこで、事前に図を書いておくことで分かりやすく説明できたと考えています。（右）

子ども達が昆虫に対して興味を持ち続け、たびら昆虫自然園にまた来たいと思えるように、今後も丁寧に回答していききたいと思います。

11月の中旬から、多くのカマキリが産卵を行っています。春になるとカマキリの卵からは、何匹くらいの幼虫が出てくると思いますか？実は、オオカマキリの卵は約250匹、ハラビロカマキリの卵は約150匹の幼虫が出てきます。



カマキリの卵は、泡のような防寒剤で守られています。オオカマキリは固めた泡に卵を包むことで、断熱材のような効果があり、中の卵を冬の寒さから守ります。一方、ハラビロカマキリの卵は表面が水をはじく構造になっているので、冬の寒さや雨から卵を守ります。



カマキリを手に乗せることが怖い児童には、カマキリの後ろ足を触ってみる？と声をかけて心理的なハードルを下げる工夫を行いました

また、11月もA3両面の解説指導員会報「虫ぶえ」の編集・発行・送付を行いました。現在指導員の会は22名の方が活動しています。そのうちガイドをしているのは、私を含めて10名です。ガイドをされていない方に向けて、解説案内を実施する際の参考になるよう、園内で新しく見られた生き物の紹介をしました。11月新しく見られた生き物はセモンジンガサハムシなど6種類、引き続き見られる生き物はカマキリ科の卵などの12種類を紹介しました。

10月に引き続き、園内に保管している標本の手入れに力を入れました。昆虫園館内には標本が数多くあり、年に1回防虫剤の交換やカビ取りの作業を行います。寄贈された標本の中には、現在では捕獲が厳しく制限されている種類もあります。

手入れを行う事で綺麗な標本の状態を維持し、図鑑でしか見たことのない昆虫や、翅（はね）が光を反射するモルフォチョウなどをご覧になって、感動される来園者の方も多くいらっしゃいます。再度来園された方の中には、「またこの標本を見たかった」と喜んでくださる方もおります。初めてのお客様でもリピーターの方でも喜んでいただけるよう、標本の管理を徹底し、綺麗な状態で展示できるよう引き続き手入れは丁寧にやっていきたいと思います。今後も来園者の学びや興味に繋がり、何度も来園していただけることに繋がりたいと考えています。

11月に防虫剤を交換した標本箱は51箱、そのうちカビ取り作業は15箱行いました。

まち協等での活動

20日(水)子ども育成部会に出席し、3世代交流を目的に企画されている、「親子でわくわくワークショップ」を中心に会議を行いました。

ワークショップの中で、まち協事務局から「毛糸でポンポンリース」の講師を依頼されたことから、内容の詳細を共有しました。また、昨年に参加した際の改善点として、講師側の休憩時間が無い点を挙げ、今年から水分補給を設けるのはどうかと意見しました。引き続き田平町の活性化に貢献してまいります。

園内で新しく見られた生き物



<クサギ>

草取りをしているときに、豆のような独特な強い匂いを感じたことはありませんか？その正体はクサギかもしれません。

この時期になると青い実をつける植物です。この実を染物の材料として使用すると、布が薄い水色に染まります。

イベントの報告



11月23日(土)にたびら昆虫自然園で実施された「冬のフェスタ」では、解説指導員と「落ち葉で仮面づくり」のブースを担当しました。45名の来園者が仮面を作成しました。子ども達は色とりどりの落ち葉やどんぐりなどを使用して、自然に親しむことができました。参加者が多い理由は、デイキャンプ会場までの道から見える場所に会場があったこと、こちらから

積極的に声をかけたことが挙げられると考えています。今後は効率的な動線の配置と、スタッフと来園者がコミュニケーションを取りやすい環境にあるかななどを意識しながら企画を考えたいと思います。

また、これまでには指導員の会会員がイベントに関わるのが少ない状況でしたが、今回の冬のフェスタでは当日の案内を含めて8名と半数近くの指導員の会会員がイベントに関わりました。運営側として関わることで、イベント全体が栄え、その経験が今後につながるのではないかと考えています。

同日予定されていた「落ち葉でクリスマスオーナメントづくり」は、予約者がいなかったため残念ながら延期になりましたが、12月7日に田平学童保育所ビートルクラブで実施することになりました。今まで以上に広報に力をいれること、冬場の自然体験イベントとしてどういったものが人気なのかというリサーチを行い、それに合わせた内容の提供を行いたいと考えています。

今後のイベント

12月21日(土)に予定しています田平中央公民館主催の公民館講座では、講師として小学生を対象に「探してみよう！昆虫ビンゴ」を実施します。興味のある方の参加をお待ちしております。(右)



自然体験講座

探してみよう！

昆虫ビンゴ

冬の生き物を見つけてみませんか？

12月21日(土)

10:00～12:00

場所 たびら昆虫自然園

参加費 無料

対象 5歳～小学生

※小学3年生以下は

保護者同伴

定員/ 10名

冬にどんな生き物がいるのかな？
ビンゴをしながら
楽しく探してみよう！



その他 保護者の同伴は可能です。

お問い合わせ

主催/ 田平町中央公民館

☎0950-22-9211

講師/ 平戸市地域おこし協力隊
古家のぞみ



お申込みは
こちら(左)

<https://logoform.jp/form/HGFh/809053>